



# 神奈川私学保連 NEWS

Vol.96  
2018.10.1

神奈川県  
私学保護者会  
連合会



## 「創意工夫」

神奈川県私学保護者会連合会 会長 佐藤 昭

(横浜創英中学・高等学校後援会 会長)

以前にも自己紹介しました自称、はまっ子の私ですが、横浜市神奈川区に日本ビクターという会社の工場がありました。現在は株式会社JVCケンウッドという会社ですが、以前この会社は、蓄音機から聞こえる亡き飼い主の声に耳を傾ける犬(ニッパー君)の姿を描いて、「His Master's Voice」と名付けられた絵を登録商標としていました。

当時の横浜本社工場は東洋一と呼ばれた蓄音機・レコードの製造工場となる第一工場がありました。日本ビクターの蓄音機は、アメリカのRCAレコード会社から技術導入を進め、拡声器やラジオなど音のメディアへの積極的な進出をしていました。特筆すべきは、現在あまり見かけなくなりましたが、テレビの映像をカセットで録画再生できるビデオレコーダーがありました。日本ビクターの高野さんは4年間の開発結果「日本人が生み出したホームビデオの世界規格」VHSを誕生させました。これは創意工夫の賜物だと思いますが、その高野さんの言葉は

「夢中でしたね。夢中っていうのは大変すばらしいことです。」でした。夢中になれることがあることはとても大切なことだと思います。

そして「創意工夫」を辞書で調べてみると、今までだれも思いつかなかったことを考え出し、それを行うためのよい方策をあれこれ考えること。「創意」は新しい思いつき、今まで考え出されなかった考え。「工夫」は物事を実行するために、よい方策をあれこれひねり出すことです。

例えば市民ランナーの活躍がメディアで取り上げられますが、これは専門的な指導を受けることなく、自らの創意工夫と努力によって競技会などに参加するランナーとなっています。また、先日新聞に「日本酒造りもAIで」の記事が掲載されていました。酒造りの世界は「杜氏(とうじ)」の経験がものを言い、しよせん職人の技であるが、今までのデータを蓄積し、AIに学ばせ品質の高い酒造りを目指すと言っています。これは知識をきちんと積み重ね、それを応用する創意工夫

が大切であることと同じです。将棋の羽生善治竜王は「将棋においてある一定のところまで強くなる人はテクノロジーの恩恵で増える。その先は個々の創意工夫にかかっている。」と話しています。ひとつのことに夢中になると、その先に創意工夫があるようです。



生徒の皆さんには、ひとつのことに夢中になることと創意工夫で今後の学校生活を楽しく、そして充実して過ごしていくことを願っています。保護者の皆様には、子どものさらなる成長にアドバイスをしていただき、共にその役割を担っていただくではありませんか。

10月15日(月)パシフィコ横浜会議センターで「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」が開催されます。私学に通う子どもたちの保護者にとつて、公立と私学の学費負担の格差を強く発信する大切な大会と位置付けています。多くの保護者の皆様に参加をお願いします。

平成30年度

# 定時総会の開催

## （神奈川私学の発展のために）

今年度の定時総会は5月18日（金）に私学会館4階講堂で開催されました。神奈川私学（小・中・高）の保護者連合会の加盟校88校中、出席校27校、委任状提出校57校で総会は成立いたしました。出席者は、各校から132名、現役員14名、来賓2名となりました。

まず、保護者会の佐藤昭会長が挨拶し、次に来賓として、神奈川県私立中学高等学校協会の工藤誠一理事長（聖光学院理事長・校長）からご挨拶をいただきました。議長は鴨下博厚副会長で議事に入り、平成29年度事業・決算報告と平成30年度事業計画・予算が提案され、すべて原案通り承認されました。

つぎに、深谷祥子役員推薦委員長からは5号議案の役員改選について提案があり、昨年度と同じ15名の役員（理事）が承認されました。理事の皆様には公私ともにご多用の中、役員をお引き受けくださり、ありがとうございました。

神奈川県私学保護者会連合会の加盟校、会員の皆様には、これからも本連合会の諸事業のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

来賓あいさつ



## （これからの時代にむけて）

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

（聖光学院中学校高等学校 理事長・校長）

ただ今ご紹介いただきました理事長の工藤です。

神奈川は近代私学の発祥の地という位置づけであります。県内には82校の私立学校がございます。これは東京、大阪に次いで、全国3番目の学校数です。私学の生い立ち、それぞれに異なっています。仏教系の学校、キリスト教系の学校、大学の付属校、あるいは志から始まりそれぞれの個人の寄附を基に作られた学校など、様々な学校があります。私学はそうした多様性が確保されて、多くの子どもたちが集い通う場所になっています。

そうした神奈川の私学でございますが、今それぞれの学校が独自の建学の精神をもちながらも、これからの時代においては学校同士がネットワークを組み、互いに協力し合って子どもたちの未来に貢献しようという趣旨で、「個の独立、群の創造」を合い言葉に、このネットワークを強くしているところです。

その象徴的なものとして、私学助成運動に対して私学保護者連合会の皆様には多大なご協力をいただいております。毎年行っております神奈川県私立学校振興大会は、5年連続で開催しております。神奈川の私学経常費補助は全国で最下位であります。基本的に、国から私学の生徒のために使ってほしいという形で地方交付税交付金として分配される金額が、県単位で最下位、東京は神奈川に比べて高校で10万円、中学校で18万円というように、生徒一人あたりにするとその額の差は非常に大きい。わずか多摩川を挟んだだけで、これほどの隔たりがあつてよいのかと思います。

そうした現状が少しでも改善されるように、学校、保護者共に手を携えてその運動をしようというのが振興大会の趣旨であります。今わが国は少子化に直面しております。同時に高齢化も進行中です。そうした中で、わが国の世界におけるプレゼンスが低下していることは避けられない事実です。近代国家日本は明治維新とともに開国し、教育の普及に努めてきました。文明を日本全国に網羅させるために、今では日本のどこであろうとほとんど電気が通っておりますし、固定電話を設置できるようになっております。そのために莫大な国民の富を注ぎました。ある部分で言えば、日本の近代の民主化というものは東南アジアと比べて、いち早く行われたわけでありました。東南アジアの国々は太平洋戦争が終った以降、独立して教育の民主化が行われています。日本はその前に、教育がある程度制度化されておりました。日本の大学は、特に論文は英語でなくともよく、大学の先生は英語で授業しなくとも構わないですが、東南アジア諸国での大学の授業は英語です。学位をとるためには英語で論文が書けなければなりません。かつては日本が先んじていたことが、かえって早くに教育が近代化したゆえに遅れてしまったという側面があります。そしてそれはアジアに限らず、南インドや中東、アフリカといったところも、今ではアンテナを立てて中国製の比較的安価なスマホをその地域に普及さえすれば、世界の最先端の知識と若い世代が触れ合えるような時代になっています。逆に今更、わざわざ山奥を切り開いて鉄塔を建てて電線を引くと言つことは、考えられない。ところがわが国は



どうでしょうか。今使っているインフラを大事にすることにとられ過ぎて、逆になかなかそうしたインフラ設備も整いません。子どもたちの中でどれくらいそうした新しいＩＣ機器を使いこなせるようになっていくのか、あるいは英語が話せる子がどれくらいいるのか、ということを考えながら、文明が進んでいたはずの我が国が、世界の中では逆に遅れ気味になっていることがあるのではないのでしょうか。今の時代は、若者たちが世界の中で戦っていかねければなりません。そうした次世代の若者たちを丸腰のまま世界へ行かせて競争させようというのは、大人の世代としては、いささか無責任なのではないかなという風に思っています。子どもたちが世界において多くの人々と切磋琢磨し、協調し、自分たちを高めていく、それだけの資質を教育の場において身につけることが求められているのではないのでしょうか。そしてそうした時に、学校という場の教育環境が充実することとは、避けて通れないのではないかと考えています。私は一つの学校の校長として「学校に生徒を縛り付けるのはやめよう」と思っています。生徒にとっては、学校の外にも多くの様々な機会があるわけです。そういったものに対して、生徒がチャレンジできるチャンスを与えて行かなければならない。そのように考えています。

本年、神奈川県私立中学高等学校協会は創立70周年を迎えます。70周年の記念式典を行うにあたり、実際に生徒たちにとってプラスになっていくものがないだろうか、ということを考えました。神奈川県はアメリカのメリーランド州と姉妹都市です。メリーランド州立大学の学生を2週間招待し、神奈川県私学の学校の中でお引き受けいただく。学校ではホームステイをお願いし、学校の授業のアシスタントをやっていたら、更には鎌倉の古都巡検に生徒と一緒に参加し、英語で鎌倉を説明する。あるいは生徒のディベート大会をこの会館で行い、そのジャッジをします。実際の形として子どもたちにプラスになる、そんな企画を考えています。これからの時代、子どもたちが世界に自信を持って羽ばたいていけるような環境や基盤を大人が作っていかねければならないと思っています。

学費補助は充分充実してまいりました。私学に通わせるご家庭と、それに対する補助の需要も増えてきています。公立学校とそれほど大差はなくなってきました。高校1校あたりにかかる生徒一人当たりの運営費は、120万円から130万円です。かなり高額な税金が生徒一人当たり投入されています。そうした中で授業料助成の点では充実してまいりましたが、私どもとしては年収で700万円近くの方までの無償化を求めていきたい。合わせて授業料の無償化だけでなく、インフラの整備、皆さんの学校選択の自由といった裾野が広がるからです。一方で学校の中、インフラ例えばWi-Fiの設備とか、情報端末の整備であるとか、海外の学生を呼ぶことで英語教育を充実させる。そういった部分では学校も体力が向上しないと対応できません。そのためには経常費補助ということで、学校に対する直接的な補助額が増えないと、現場での教育環境の充実はかなり厳しいということを、ぜひとも皆様方には知っておいていただきたいと思います。

来年は統一地方選挙があります。有権者である保護者一人一人の心が、補助金あるいは学費補助を充実させなくてはという議員の先生方の気持ちも動かすわけですが、私学に対する経常費助成については、遺憾ながらおろそかになりがちです。しかし、子どもたちが学ぶための基礎となるインフラの整備には、この経常費補助も欠かすことのできない補助金であるということを、是非とも皆様に深く理解していただきたいと思います。私たちは子どもたちのために少しでも教育環境を改善し、そして子どもたちが自信をもって世界の中で多くの人と協調しあい、この地球を良くしていくために励んでいける—そんな新しい「財」を、財産の「財」と同じようにとらえることが大切かと考えています。そうした子どもたちの育成のために、これからも皆様とともに力を合わせて前に進んでいきたいと思っております。今後とも引き続き神奈川の私学に対するご理解ご協力ご支援を賜りますようお願いいたします。私のご挨拶とさせていただきます。

## ●平成30年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

| 役職名   | 氏 名     | 所属父母会（PTA）・役職名        |
|-------|---------|-----------------------|
| 会 長   | 佐 藤 昭   | 横浜創英中学高等学校 後援会会長      |
| 副 会 長 | 深 沼 昭 彦 | 横浜清風高等学校 PTA常任顧問      |
|       | 原 大 蔵   | 聖光学院中学校高等学校 後援会理事     |
|       | 鴨 下 博 厚 | 洗足学園中学校高等学校 洗足会顧問     |
| 理 事   | 赤 松 育 子 | 鎌倉学園中学校高等学校 PTA顧問     |
|       | 木 村 美 佐 | 鎌倉女学院中学校高等学校 家庭会顧問    |
|       | 稲 葉 夏 美 | 武相学園中学校高等学校 PTA相談役    |
|       | 庄 司 由 紀 | 富士見丘学園中学校高等学校 PTA副会長  |
| 会計理事  | 濱 野 弘 規 | 横浜雙葉学園 後援会執行委員        |
|       | 吉 成 みち子 | 横須賀学院中学校高等学校 教育賛助会会長  |
|       | 浅 見 昌 宏 | 立花学園高等学校 PTA参与        |
| 監 事   | 深 谷 祥 子 | 藤嶺学園藤沢中学校高等学校 PTA担当役員 |
|       | 金 子 晃 久 | 高木学園女子高等学校 PTA顧問      |
| 顧 問   | 市 川 昌 廣 | 横浜学園高等学校 後援会会長        |
|       | 玉 園 篤 敏 | 平塚学園高等学校 父母の会会長       |



## 公演内容

●平成30年5月18日

●場所

神奈川県私学会館4階講堂

## 公演「笑顔を引き出す話し方」

桂歌助氏

歌丸二番目の弟子歌助と申します。嘶家の身分には前座、二ツ目、そして真打ち。あとは協会の理事、会長、副会長とございまして、師匠歌丸が会長であります。会長が終るとご臨終が待っております。皆様方のおかげをもちまして師匠は入退院を繰り返しております。趣味が入院、特技が退院です。

本日は皆さんが興味をもてればという話を半分、お客様を笑わせるにどういう修行をしてきたかという話を笑点「おおぎり」の話を含めて少し、休憩後本物の味を出して計一時間半。お客様の笑いが多くなると伸びるかも知れません。少ないと早く終わるかもしれませんが。早く終わるつもりはありませんので、できるだけ笑ってほしいと思います。

私は新潟県十日町に生まれ高校までおりました。甲子園を目指していましたが残念ながら負けまして、指導者として甲子園へ行こうと思い、教員になるべく東京理科大学に入学しました。先生は喋る商売ですから、落語が役立つと思い、寄席に通っているうちに面白くなって3年生の秋に、親に言わずに師匠のところへ弟子入りしたのです。教員免許は取れなかったのですが、卒業だけはさせてもらいました。

住いは上大岡。かみさんはもともとそこに住んでいて、山手女子を卒業し、日揮・石油プラント関係の会社に勤めました。師匠が三吉演芸場で独演会をやっている、師匠のファンだったかみさんが勤務後に師匠の落語を聞きに来たのを縁に、結婚することになったのです。うちの田舎のお袋は喜んでくれましたが、かみさんの親が「うん」と言ってくれなかった。手塩にかけて育て、高卒で有名会社に就職した娘には、サラリーマンのような堅い人がいいと思っていました。仲人は師匠にやってもらいました。子どもは二人とも南台小学校から笹下中学へ行きました。いよいよ高校になると苦労が始まるわ

けです。娘は鎌倉女子大付属高校からそのまま同大学へ行き就職が決まったわけです。ということで娘は割と良かったです。息子は本当に苦労が多かったのです。息子も野球やっていて、甲子園は無理でも高校で野球をやった大学へ行こうと、県立横浜栄高校に入学。ところが練習中にチームメイトにデッドボールをぶつけられ、頬が陥没して野球が怖くてできなくなってしまいました。そこから登校拒否が始まり、いったん退学して、神奈川県総合高校の夏（秋）の卒で入学しました。それから1年浪人し、工学系の大学に入って、野球部でそこそこやっています。今は、娘は卒業して就職、息子は大学二年生で野球を続けています。子育てはうまくいったとはとても思いません。自慢できるような話はありませんが、笑ってもらえるにはどうしたらいいかという話を幾つかしたいと思います。

最初に落語家の修行のなかの芸の話をします。徒弟制度は師匠が「カラスが白」と言ったら「白」、「雪が黒」と言ったら「黒」、逆でないわけですね。カバン持ちをしていて、信号で止まっていると、師匠が「あの信号は何色?」と、私が「赤ですね」と答えたら「青だ」と師匠は言いました。逆ならえないので「青に見える青です。青ですね」と言うと、師匠は「うん青だな、じゃお前先に渡れ」と言うのです。困っちゃって青になるまでじっと下を向いていました。師匠は「カラスが白と言ったら白というのは生き



ていけない。「師匠！わたくしはカバン持ちですから先にどうぞくらい言え」と。全部が全部「はいわかりました」では生きていけない、ということなんです。この社会でも通じますが特に嘶家の場合はそうです。

嘶家に大事なものは1番目が声、2番目が仕草、3番目がネタです。「歌助の話を聞いて人生が変わっちゃった」なんて話はないわけですから。「また呼ぼうよ」ということになったら、ネタを覚えてもらおうと困るんですよ。日常ごく自然にある話、お客様の頭の中に自分の体験と照らし合わせて、こういうこともあったのだなと思いだして笑うのが落語。「笑わす」にはいろいろな方法があるのですが、独りでやるときはこれが一番いいかなと思います。

私は笑点には出ませんが、大喜利の稽古は師匠から教わっています。大喜利にはパターンがあって、言葉遊び、なぞかけ、これが一番基本です。Aとかけて、Bと解くその心はCである。例題を言いますと「新聞とかけて寺の坊さんと解く」その心は「袈裟着て経読むでしょう」。二つ同時進行で考えます。一つが連想、お題から別の言葉を思い浮かべる連想ゲーム、もう一つが同義語・駄洒落ですね。例えば新聞というお題が出ました。新聞で何を連想しますか？①事件、②朝早い ③毎日。事件と言われて何連想しますか？パトカー、朝「早い」から救急車。毎日から牛乳配達。最初に連想したのはC、2番目に連想したのはBです。両方に連がっているわけですね。真ん中の言葉が両方に繋がるわけです。新聞とかけてパトカーととく、その心は事件が付きものでしょう。新聞とかけて救急車ととく、どちらも朝早いでしょう。新聞とかけて牛乳配達ととく、その心は毎日届く物でしょう。とするとオチがつくんですね。一番最初に思い浮かべたCの部分の同義語を探すんです。同音異義語がありそうな連想をする癖をつける。日常会話にするには小咄できます。AはBみたいだね。どうして。だってCでしょ。会話形式にきり変え、このパターンが加わると、日常会話の中で洒落のきいたことがいえるようになるわけです。基本的には駄洒落で、あるいは駄洒落に近い言葉を入れて、笑わすというところでお役に立ちましたかね、今日はありがとうございました。

以下落語一席 題目「変わり目（かわりめ）」



## 「笑顔を引き出す話し方」の公演を聞いて

理事 濱野弘規

(横浜雙葉学園後援会・執行委員)



「桂」の名前の通り、桂歌助師匠は、この7月に逝去された落語会の巨匠・桂歌丸師匠の二番弟子です。新潟県のご出身で、高校時代は甲子園を目指す野球青年の傍ら、高校の数学教師を目指すために、東京理科大学・理学部数学科卒／英語研究部という素晴らしい「学歴でした」。「教壇に立つからには話が面白くない」と図書館で借りた落語のテープを聴いたのがきっかけで、落語にハマった挙げ句、本業にしまったというユニークな経歴の話から和やかに公演が始まりました。

今回の演題は「笑顔を引き出す力」で、どのようにお客さんに楽しんでもいただけるかを順序立てて話してくれました。歌助師匠が気を付けていることは「声」「しぐさ」「ネタ」です。「声」に関しては大きさや調子の変化、「しぐさ」は断家の小道具である扇子や手ぬぐいの使い方、具体的な小技が絶妙でした。そして話の内容である「ネタ」については、明るくなる題材がまずは大事ということ、展開に関しては途中の「くすくす」から最後の「オチ」に結びつくまでの内容をなぞかけを主体に解りやすく説明していただきました。つまり自分の体験の中で映像を作ることが大事だということで、歌助師匠の断の展開は、相手の立場を思いながら巧緻な話題提供することでした。最後には『変わり目』という講談の中で、いわゆる真打の落語の世界を拝聴いたしました。落語家は「笑つてもうってなんぼ」の世界で、相手の笑顔を引き出すための周到な準備と稀有不努力を垣間見た思いです。特に歌助師匠の印象的な言葉は「人間の癖の中では笑い上戸が一番」、笑いが健康の元であることを実感しました。

公演の中では桂歌丸師匠が50年続けていた「笑点」の人気の秘密も披露していただきました。7月に歌丸師匠が逝去されたときには、地元の横浜・南区の横浜橋には献花の行列ができ、歌丸師匠が長年館長を務めていた横浜・野毛にある大衆芸能専門館「にぎわい座」では、そのひと月後の8月に歌助師匠の独演会が行われました。歌丸師匠の思いを継いだ弟子・歌助師匠による高座は、多くの方を笑いの世界に導いていた様子でした。この保護者の公演会でもお話し下さった「笑顔をひきだす力」を子供たちに還元していきたいと考えています。

## 私立学校への「経常費助成補助」の増額を求めて

### 桐生秀昭県議会議長へ請願・署名を提出 9月7日 神奈川県庁新庁舎

私立中学高等学校協会役員4名と私学保護者会連合会の役員3名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と、教育条件の維持向上に向けた私学への「経常費助成補助」の増額等の要望を県議会議長に提出しました。

6月4日に全加盟校にお願いした「経常費助成補助」に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から、249名分が集まりました。県庁新庁舎の会議室において、中高協会の工藤誠一理事長と保護者会連合会の佐藤昭会長が代表して、桐生秀昭（きりゆう ひであき）県議会議長に提出しました。

平成30年度の「私学振興費」の総額は、昨年度に比べ増額となっていますが、その内容は「私立高等学校等生徒学費補助」は制度変更にともない負担が軽減されたものの、「私立高等学校等就学支援事業費」と合わせた予算額は6.2%の減額となっています。「私立学校生徒学費緊急支援補助金」の減額や最も大事な私学経営の柱となる「経常費補助」は対前年度0.8%の減額となっており、私学への県費助成の増額を強く要望します。

神奈川県の私立高等学校等への生徒一人あたりの「経常費助成」は、高等学校、中学校、中等教育学校とともに国の財政措置である基準単価を大幅に割り込み、



全国都道府県別に比較すると中学校が全国でワースト1位、高等学校がワースト3位という低い水準です。神奈川県に学ぶ生徒たちが、保護者の経済状況に左右されず、より自由に学校選択ができる教育環境をつくるために、私学への助成は極めて重要なことと考えます。これからも「経常費助成補助」のさらに増額を求める取組について、全加盟校のご協力をお願いします。



# 平成30年度日私学保護連総会報告

副会長 深 沼 昭 彦

(横浜清風高等学校PTA 常任顧問)



本年度は中国地区鳥取にて、日  
本私学小学校中学校高等学校保護  
者会連合会年度総会・研修会が開  
催されました。

研修会に先立ち総会が行われま

した。総会は多数のご来賓の方々にご臨席賜り文部  
科学省副大臣、自由民主党代表・団体総局長、開催  
県鳥取県副知事、鳥取県議会議長、日本私立中学高  
等学校連合会会長様皆様よりご祝辞を頂きました。

本年度は役員任期満了に伴い役員改選があり神奈  
川県の会長が全国の副会長へ推薦承認を頂き就任致  
しました。本年度は全国の会長が任期満了となり新  
会長が就任致しました。

東北・北海道地区より宮城県会長が全国の会長に  
推薦承認を頂き就任となりました。

会計報告、事業報告、予算、事業計画等あり次年  
度、開催地区は九州地区福岡県との発表がございま  
した。本年度より地区担当になりました青少年育成  
研修会は四国地区にて開催との発表がありました。

最後に総会決議を全会一  
致承認し閉会となりました。

研修会は総会後、中高連  
会長の吉田先生より「高大  
接続改革に伴う新たな英語  
教育について」のご講演を  
頂き、翌日は、すなば珈琲  
代表村上氏によるご講演を  
頂き終了となりました。



# 関東地区代表者会・研修会に参加して

理事 木 村 美 佐

(鎌倉女学院中学校高等学校家庭会顧問)



今年度は、8月29日(水)に群馬県  
高崎市で、関東地区私学保護者会  
連合会・代表者会及び研修会が開  
催され、神奈川県私学保護連からは、  
佐藤会長以下12名の理事並びに事  
務局次長が出席しました。

大会は、次第にそって進みましたが、この大会の  
最大の目的が公私間格差の是正であることから、代  
表者、また、ご来賓の皆様のご挨拶などでは、その  
思いの熱意が強く感じられました。

次に、東京を除く関東地区6県から活動内容や取  
り組みなどの報告、情報交換が進められ、各県特色  
があり、今後の活動に向けて参考になり大変有意義  
であったと感じました。

その後の研修会では、前橋育英高校サッカー部監  
督(校長) 山田耕介先生が「開け未来の扉を」とい  
う演題で講演されました。

山田先生は、長崎県の出身、名将小峰忠敏監督率  
いる県立島原商業高等  
学校、法政大学を卒業  
し、昭和57年(1982  
年)前橋育英高等学校  
社会科教諭として赴任、  
サッカー部監督となり  
ました。

サッカー一筋、特に高  
校時代は小峰監督のも  
と厳しい3年間を過ご  
されたこと、そして赴任  
した当初はサッカーの  
指導より生徒と向き合



うことから始め、強豪校と練習試合をして負け、失  
敗・挫折し弱さに向き合い、そこから学び、諦めず  
前進することにより成長・進化が生まれてくるとい  
う、生徒の将来に向けての指導をしてきたとのこと  
をされました。教育の最終目的は、生徒自身が自  
分で自分を伸ばせるとこ  
ろまで育てること、と  
いう大変感銘を受けた  
講演でした。



研修会後は、各県の  
役員が参加して懇親会  
が開かれ、最後に来年  
度の開催県である栃木  
県代表のご挨拶で閉会  
となりました。

# 平成30年8月24日(金)神奈川県私学会館講堂 いじめ・暴力行為問題対策協議会

副会長 鴨 下 博 厚

(洗足学園中学高等学校 洗足会顧問)

今回は、人権・同和研修会として  
開催されました。



まず始めに私学振興課より挨拶が  
ありました。今年は、1948年12  
月10日に国連が、『世界人権宣言』  
を採択してから70周年を迎える年であり、「人権」が  
「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求す  
る権利」であること、人権を尊重するためには、「自分  
の大切さとともに、他の人の大切さを認める」という  
気持ちを生徒や児童に育む人権教育を、学校教育のあ  
らゆる場面で行うことが大切との指摘がありました。

次に『インターネットと人権問題』というテーマで、  
株式会社教育ネットから講師2名をお招きしての講演  
が行われました。スマホや携帯を使い始めた時期が早



期化・低年齢化していることや、各種サービスの利用率などを、具体的な数値を基に、わかりやすく解説されました。また、SNS等の各サービスの機能や特徴を説明され、利用によってどのような被害が想定されるのかを説明してくださいました。特にSNS上の「いじめ」については、発生した事例に基づくケーススタディを行いました。SNSは、1. ひろまる（投稿は拡散する）2. のこる（投稿した文書や画像は残る）3. わかる（誰が投稿したかわかる）ものであり、その特性を子供たちに理解させることが重要との指摘がありました。

今の子供たちは情報機器に囲まれて育った世代であり、今後一層高度化される情報社会を生き抜いて行かなければなりません。そのためには、正しく安全に使うための情報モラルが必要となりますが、ネットトラブルの多くは、その特性の無理解と「人権」の軽視に起因しているのかもしれない。

当日、平成28年に制定された『ともに生きる社会かながわ憲章』の印刷物が配布されました。その中に、「私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのち

を大切にします」との一文があります。人権を尊重し、「いじめ」の無い社会を実現するためには、この精神を広く伝えていくことが大切なのだと実感した研修会でありまし

## ネットトラブル発生時 問合せ先 総務ネットサポート 045-507-8925

| 事案                  | 例                      | 概要                                           | 連絡先                                                              |
|---------------------|------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 明らかな犯罪行為、緊急性のある投稿   | 恐喝、脅迫、被害予告など           | 犯罪が疑われる場合は必ず警察への相談が必要（ただし事件化しない限りは公式には触れない）。 | 警察庁サイバー犯罪対策室<br>https://www.npa.go.jp/cyber/<br>※緊急性の高い場合は110番通報 |
| 外票との金銭が関係する場合       | 架空請求、ネットオークション詐欺など     | 金銭関連は国民生活センター・各都道府県の消費生活センターに相談              | 国民生活センター<br>http://www.kokusen.go.jp/                            |
| 人権侵害や名誉毀損に関連する投稿    | 誹謗中傷、プライバシー情報など        | 人権侵害、名誉毀損に関する書き込みは法務局                        | 法務省(当課ページ)<br>http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken88.html          |
| 緊急削除を要する、公序良俗に反する投稿 | 児童ポルノ/法違反の画像、リベンジポルノなど | 緊急削除を要する事案にはセーフラインに連絡                        | 一般社団法人セーフラインネット協会<br>https://www.safe-line.jp/against-rvp/       |

Copyright (C) 2018 EdoNet Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 2018 神奈川全私学（中・高）展

### 神奈川全私学（中・高）140校が

### パシフィコ横浜・展示ホールC・Dに

### 集合しました。

開催日時：2018年7月16日（海の日）

時間：10時～16時

場所：パシフィコ横浜・展示ホールC・D、2階アネックスホール

今年は入場者の待機場所として使用していた展示ホールBが、改修工事のため使用できなかったため入場者の混雑が心配されましたが、大きな混乱もなく昨年度より3,800人ほど多い36,000人程の方にご来場いただきました。学校ごとのブースや各コーナーでは、ご来場の保護者や児童・生徒の皆様が多くの関心を持って見学していました。

特設ステージのイベントでは参加39団体が趣向を凝らし、特徴を活かした内容でステージ発表に取り組んでいました。「保護者のための講演会」として、2階アネックスホールでは「講演会」と「各校の資料コーナー」を用意しました。特に保護者向け講演会につ



いてはとても関心が高く、多くの皆様が熱心に聴講していました。

「制服展・校章パネル展・部活動写真展」は例年実施のコーナーですが、139体の制服人体には今年も多くの来場者が大きな関心を持っていました。部活動写真展は各校の活動の様子がよくわかる展示でした。

「学費支援相談コーナー」の相談員担当者は26名にお願いしました。神奈川県私立中学高等学校事務長会の皆様24名、神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課から2名の方にご協力いただきました。

保護者の願いを届けましょう！

## 神奈川県私立中学校・高等学校

## 振興大会

平成30年10月15日(月)

14時00分～15時40分

パシフィコ横浜  
会議センター メインホール

平成30年度も「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」を、私立中学高等学校協会・私学保護者会連合会主催、私学保護者会交流会の共催で開催します。

開催の趣旨は、神奈川県私立中学校・高等学校のより一層の振興を期して「神奈川私学の決意と願い、及び努力を神奈川県民の皆さまにアピールする」ことを目的として、

- ① 改正教育基本法及び私学振興助成法の精神を十分に反映した私学振興策の着実なる実施
- ② 公私間の学費格差の是正や公私立学校の協調経常費補助（生徒一人当たりの単価）を国の財政措置額並の増額等を行政関係者及び議会関係者に要請
- ③

ということです。

当日の招待者（予定）は、神奈川県知事の黒石祐治様、県私立学校審議会会長牧島功様、をはじめ来賓として国会議員、県会議員をお迎えする予定です。参加者は、加盟校の理事長・校長・教職員及び保護者会から各校10～15名程度をお願いし、約1,000名の大会にしたいと考えております。

今年も多くの皆様のご参加を、よろしくお願いします。

## 神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会

実施日 平成30年10月15日(月)

会場 パシフィコ横浜 会議センター メインホール

＜交通＞JRまたは市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩12分  
みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩3分

時程  
・受付 13:20～14:00  
・振興大会 14:00～15:40

## 平成30年度主な行事への出席

- ◆4月29日(日・祝) 「2018中学相談会」 \*パシフィコ横浜(佐藤会長、深沼副会長)
  - ◆5月8日(火) 平成30年度5月理事会 平成29年度会計監査
  - ◆5月18日(金) 平成30年度定時総会・特別公演会 \*私学会館講堂
  - ◆6月22日(金) 関東地区私学保護連理事会 \*メトロポリタン高崎
  - ◆7月14日(土) 全国高等学校総合文化祭派遣激励式 \*横浜西公会堂(佐藤会長)
  - ◆7月16日(月・祝) 「2018全私学(中・高)展」 \*パシフィコ横浜
  - ◆7月19日(木) (佐藤会長、深沼・鴨下副会長、稲葉・庄司・木村理事、吉成会計理事、深谷・金子監事)
  - ◆7月24日(火) 日本私学保護連総会・研修会 \*ホテルニューオータニ鳥取
  - ◆7月24日(火) (佐藤会長、深沼副会長、事務局)
  - ◆7月24日(火) 事務長会夏季研修会 \*ホテル河鹿荘
  - ◆8月21日(火) (佐藤会長、深沼副会長、吉成会計理事、深谷監事)
  - ◆8月21日(火) 理事長・校長研修会 \*箱根湯本富士屋ホテル
  - ◆8月24日(金) (佐藤会長、深沼・鴨下副会長)
  - ◆8月24日(金) いじめ暴力行為問題対策協議会 \*私学会館講堂
  - ◆8月29日(水) (佐藤会長、深沼・原・鴨下副会長)
  - ◆8月29日(水) 関東地区私学保護連総会・研修会 \*メトロポリタン高崎
  - ◆9月7日(金) (佐藤会長、他役員12名)
  - ◆9月7日(金) 県議会議長への請願 \*県庁新庁舎(佐藤会長、深沼、原副会長、事務局)
- これからの行事予定**
- ◆10月15日(月) 神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会
  - ◆10月31日(水) \*パシフィコ横浜 会議センター メインホール
  - ◆11月20日(火) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅰ」
  - ◆11月20日(火) 江戸東京博物館見学「杜の賑い」公演鑑賞研修(佐藤会長、石田代表、約70名)
  - ◆11月28日(水) 私学振興全国大会 \*東京・メルパルクホール
  - ◆11月28日(水) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅱ」 \*講演会
  - (1) 演題：ヒトはおかしな肉食動物―生き物としてのヒトを考える―
  - (2) 講師：高橋 迪雄(たかはしみちお)氏
  - 東京大学名誉教授 元・味の素株式会社健康基盤研究所所長

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ

<http://www.phsk.or.jp>

●内容 学校情報・入試情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』 〒221-0833 横浜市神奈川区高島台7番地5 神奈川県私学会館内 ☎045(321)1901  
■印刷所 『有限会社 イソノ』 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-10-4 ☎045(753)2549